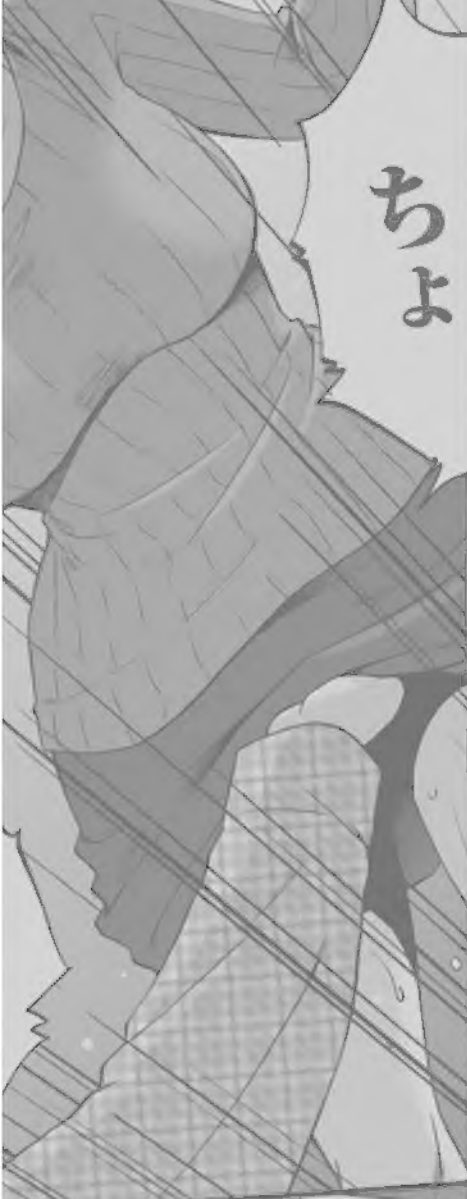
ヤングチャンピオン
コミックス
YC COMICS
落日のパトス
6
Rakujitsu
no
PATHOs
Presented by
Tsuyatsuya
艶々

RAKUJITSU-NO-
PATHOS
落日のパトス
6
Presented by
Tsuyatsuya
ヤングチャンピオン
コミックス
COMICS

RAKUJITSU-NO-PATHOS

落日のパトス 6

CONTENTS

[初出] 別冊ヤングチャンピオン
2018年新年1月号～7月号

「ここまでの「落日のパトス」は」

漫画家を目指す青年・藤原の住む部屋の隣室にかつての恩師・仲井間が引っ越してきた。同じアパートの〝隣人〟として交流を始めた二人…。

連載が決定した藤原は仕事の忙しさから、そして仲井間は夫との夜の営みがなくなってきた影響から、ともに性欲が枯れはじめてきてしまう。

そんな中、久しぶりに出会った二人は束の間の癒しのひと時を満喫し性欲を取り戻す。

一方、まさみは原稿作業の打ち上げ中に藤原の指を舐め興奮させて二人で温泉に行くという約束を取り付ける。

その後、再び出会った藤原と仲井間。突然の豪雨に見舞われ公園の遊具の中に避難した二人だったがそこで欲望が燃え上がって…!?

藤原 秋
Aki Fujiwara

漫画家の青年。仲井間にかつて犯した行為を後ろめたく感じていた。普段は物静かな性格だが、性的な好奇心は人一倍旺盛。

仲井間 真
Makoto Nakaima

旧姓：祐生。藤原の高校時代の恩師。現在は結婚し、退職。夫の仕事の都合で藤原の住む町に引っ越してきた。年の差婚で、男性経験は夫ひとりだけ。最近、夜の夫婦生活に物足りなさを感じている。

神保 まさみ
Masami Jinbo

藤原が大学時代に所属していたサークルの後輩。現在は藤原の仕事を手伝うアシスタント。垢抜けない感じの少女だが、胸が大きくスタイルは良い。藤原のことを狙っている。

高杉 ミツアキ
Mitsuaki Takasugi

藤原のもとで働く新人アシスタント。３次元の女性には全く興味のない童貞。要領が悪く不器用。神出鬼没で突然現れることが多い。

第38話

は
あ
ひあ

ぞわ
あ
ア…アキくん…っ
ぞわ
ぞわ
ぞわっ
あっ
あ
どう…
どこで…こんなコト
覚えっ…

どこで…
と言われたら…
えっ
えっと
ついまだ
ゆうべ
まさみちゃんに
やられたから
なんだけど…
ここは
やっぱし
マ…
マンガで
見て………
あっ
ビクビクッ
モゾ
モゾ
だめ

いっ…く…っ
でる
ぞわ
ぞわ
ぞわ
ぞわ
え
ど
どっち…!?
ば…かあぁ
あ
あ

あ
ガクガク
あ
ビクンッ
ビクンッ
ガクガク
は
ブルルッ
あっ…

!
パン
あ……
あ……ああ……
パンパン
ジャ
パシャ
……っ
ジャパシャ
あ～～……
パシャシャ
パシャシャ
パシャ

やっ
見ちゃ…やっ
パーンッ
パーンッ
パーンッ

見ちゃだめえええ…っ

アキくんが……
わるいんだ……よ…っ
こんなとこで…
ドクン
お…
ドクン
おもらし……!?
ドクン
先生が
先生が
いいオトナのオンナが!!
ドクン

う…っ
ぐすっ
あ
ぐすすっ
もお
やだあ〜〜
こんなの……
僕の…
ずっ
ぐすすっ
僕の
せいで
先生が
泣いてる…
ぐすっ

おもらし
して……
泣いてる
なんて……

なんて
コーフン
するんだ
ドクドク
ドクドク
ドクドク
ドクドク

そうじゃ
本域のHスかよ僕は
なくて!!
どうしよう…
先生をなんとか…
なんとか…
そうだ!!
ザーーッ
先生!
え!?
きて!
ドドッ
さあ!
え?
なに
やだ
雨が
だから!
ザァァァァ

ほら！
これなら
もう
全身
ふたりとも
ずぶぬれで
先生の
………も
ぜんぶ
ただの
〝水〟ですよ
………！

全身…
ビショビショで………
ハハ
ザァァァァァァァァァァ
アキくんは…
…ほんと
ムチャクチャだよね…
…にしても……なんか
?
モジ
モジ

やっぱり…こう…

こんなになったパンツ…

ちょっとやだな……

なまあったかい……っていうのが…

なまあたたかい!!

ザアァァァ

もう…脱いじゃおうかな……

モゾ…モゾ…

脱!!

ドキッ

そのへんで…

そのへ

でも…こんなトコで………？大丈夫かな？
ザァァァ
……
どうせこんな雨の中誰も来ないだろうし…
…気分的にやっぱり……
コレ…はいてるのやだもん
……わかりました
じゃあ僕
見張ってますから
んっと…その植込みの向こうなら大丈夫でしょう
ん…
ちゃ…ちゃんと見張っててね！
ザァァ…
ハイ！

あ…
だんだん雨も小降りに……
!
あ　くそ
まだお祈りが足りないかっ
もう一回だっ
ていっ
!!
ミツアキくん!?

やば…っ
ギョ
えっ
ちょ…っ

シー
シー！
みつ…うちのアシ君がそこに!!
え!?
……なにしてるんだろう彼は…
ずっと立ち止まってスマホでなにか…
でない
でない
おかしい いつもならこのへんで

…………
…………

あの…
こっち向いてるんで
続けて下さい…
……
ん……

このままでも…ラチあかないし
そうする…
ジュルルッ
んっ
んんっ
ギュッ
ジュルルッ
ジュルッ

よっしゃあ
ガッ
きたっスぅ――ッ
はああ…
3万つっこんだ甲斐があったなァ
僕の美玲〜〜〜〜♡
さあ帰るっス!
あ雨やんでる
……
……
…ヘンな子ね……
……です…

あの…
アキくん
は

なんか大人げなく
色々言って
ごめんね
2人で
楽しんできたら
いいと思うよ
旅行

え…
いや…
そんな
それにね

うちも
来週の水曜から
一泊で
熱海へ
旅行に
行くんだ

あたみ…
ダンナ
さんと…
…ですか？
ハハっ
当たり前
じゃない！

例の旅行の件だけど…
うん
うん
あのさ
あれ
熱海……
とか
どうかな
……？
うん
そう
来週の…
水曜とか
…どうかな
………？
うん
うん

RAKUJITSU-NO-
PATHOS

RAKUJITSU-NO-
PATHOS

第39話 ホントに偶然だったの？

あれ？
でも そういえば ダンナさん お酒飲まない んじゃ…
あ うん 家ではね
仕事柄 飲むのが 仕事みたいな もんだから
家でまで 飲まなくても いい…って
営業だからね
熱海 でしたよね
うん
…熱海って …なに ありましたっけ
えっと… 貫一 お宮の 像とか
？
？
こう…なんか 男の人が 女の人を 蹴っとばしている……
あー あー！
知ってる かも！
TVで みたような…
あのへんは 一度 見ておき たいなぁ
じつは私も みたこと ないので
…… 楽しそう ですね

ん…まあ2人で旅行なんて

新婚旅行以来だし

やっぱそれなりには楽しみかなー

そっかー……

…アキくんも行くんでしょ？

え

あの子と――どっか旅行

ええ…まあ

実は僕らも

お互い…

楽しい旅行になるといいね

第39話
ホントに
偶然だったの？
わぁ

ザワ
ガヤ
ザワ
ガヤ
ザワ
ザワ
NEIWA STREET
わー テレビで 見たとおりだー
あっ ねえねえ 温泉まんじゅう ふかしてる！
あっ イカとっくり！ あれいいな
うん そういうのは 明日にして
せんべ
あす
ああ 今日は とりあえず 旅館に 向かうよ
一応 温泉も あるから
あっ温泉 入りたいっ!!
うんじゃあ 着いたら すぐ入ると いいよ
わあい
夢掛け地蔵

さあ
ここだ

おっ…
ちょっと
古いけどね
僕らは
2階の竹の間だ

ギシ
そ…そうね
ちょっと
古めね…
レ…レトロ？
ギシ
ミシ
うすぐら～い…
ギシ
ミシ

ほらこの部屋
だよ
ちょっと
狭いけど
充分だろ？
ザ
昭和…
うん

まあ…
古いのはね
歴史だし
温泉も
あるんだし
それくらいは
仕方ないか！
シャッ
さあて
窓からの
景色は
…っと

えっ…
カベ!?

あー…
昔は海が
見えたん
だけどなー
マンション
建っちゃったん
だよなあ
ほら
リゾート
マンションって
やつだ
配管と
室外機しか
見えない…

そのマンション
からはよーく
海が見えてるん
だろうなァ
ハハハ…
そうね
シャッ

そうだ
浴場はもう
入れるぞ
温泉だし
行ってみたら
どうだ?
えっ
ほんと!?
行って
くる!

大浴場
パタ
パタ
パタ
パタ
そうよね
せめて
温泉に
あったみ
だもーん

ちんまり。
…………
いや…
大浴場って書いてあったよね…
家族風呂…？
ザバー

チャプ…
……
くらい…
なんか…
うっすら
カビ臭い…
想像してたのと…ちがう
まあでもあったまったし…
おお あがったかい
紹介するよ こちら
スーッ
こんにちはー
前の営業所で一緒だった飯田橋くんと神田くんだ

やあほんとに
聞いたとおりの
若い奥さんだ
おうわさは
かねがね
は…はあ
飯田橋です
神田です

こっ…
こちらこそ
主人がお世話に
なって…
なって
ました?
はっはっはっ

いや
今回の休暇の
話が出てから
どうせなら
久しぶりに
ここで
会おうって
話に
なってね
こいつらも
休みを
とるって
ことでさ
はあ
ここは
我々の
入社時の
研修所
だったんで
すよー
ははあ
そう
まさに
想い出の
場所で

いやあ
久しぶりに
このメンツで
飲めるなんて
いやでも
奥さん
一緒だろ
いいのかい
大丈夫さ!
なあ!?

はあ

わっはっはっはっ

あははははァ

まだ3時すぎ

…なのにすっかりできあがっちゃって…

いやぁお前でもあの時はさァ

ハハハハいやいやわかってる!わかってるよ!けどな

あんときは仲井間さんがさあ!

すっごいテンション高いし…

いやいやちがうって!あれはー

でもそっか

こうして早く3人で飲むためにわざわざお酒持ってきたのか…

あっ…しかし
奥さん
退屈じゃない
？
よければ
観光でも
行って
きては？
えっ
あっ
ほんとだ
すいません
ね！
そうだな
うん
熱海はじめてだろ
見てくるといいよ
……
…うん
じゃあ
行って
くるね
ふう
コッ

川をきれいにしましょう!

大湯間欠泉
立ち寄り

ニューフジ ホテル

Atami Ginza

本町商店街
カツカレー
レストラン 宝屋
P

三島 伊東
Mishima Ito
135
coffee
あ…
熱海城…

ああ
わたし

なに
してんだろ

こんなとこまで
きて

ひとり
ぼっちで

おかしいなぁ………
あんなに…楽しみだったのに…なぁ

まあ…でもそりゃあ
ダンナさんも何年かぶりの再会なんだもんなぁ
しかたないか…
三島
Mishima
伊東
Ito
135
P2 P1 P0
200m

なんか…
ポッポー
ポッポー

コツ
なんか…

あれ
先生

先生だぁ
ぐっ…
偶然ですね…っ

あ…
えっ!?
え!?
なんで…アキくん…!?
いやあハハハ
なんでっていうか…その…
偶然ですねェ
偶然って……
もおアキくん………

あれ？先生目が赤いですけど…
なんでもないようっ
それにしても先生一人で…？
ん…まあいろいろあってね
アキくんこそなんでこんなトコにいるの？
彼女と旅行って…
はあ…
それが偶然僕らも熱海にって…
は!? そんなことあるの!?
ははは いろいろあって…
じゃあ彼女もいっしょ？
どこに？
ええと…それもまた色々ありまして…
まあ結局今一人でちょっと
先生の言ってた〝貫一お宮〟を見に行こうと…

ふうん…
よくわかんないけど…
じゃあどっかに泊まるんだ？
はい
ここのすぐ上のホテルに

ホテル…
そう…
いいわね…
は？

温泉…ちゃんとあるの…？
そりゃもう
……いいな
え？ないんですか!?
……

一応は温泉らしいんだけど…
なんかカビ臭いし…
雰囲気もね…
古いから仕方ないかもしれないけど…

！

そうだ先生！
それなら〝立ち寄り湯〟いきませんか!?
たちよりゆ？

海温泉旅館
月航
温泉 浴場
仲湯
温泉と
湯ったりと
フロント
ほらここ
看板見て覚えてたんですよ

は——なるほど
日帰り温泉ね
なんだか伝統ある温泉みたいですから
きっといいと思いますよ
もちろんスマホ調べ

すいませーん
やってますか
アキくんて
ゴウン
ほんとなんで
一人であんなトコいたのかわかんないけど…
ありがとう
…………
一人だったら…わたし心折れてたかも…

えっ
大浴場
入れないん
ですか!?

ちょうど
今日だけ
タイルの
修繕中でねェ
ごめん
なさいねー
そんなあ
……

仕方ないよ
アキくん
でも
先生
せっかく…

あ でも
入れないのは
大浴場
だけだよ
え?

家族風呂
なら
入れるから

か家族風呂って…それは
そうそう貸し切り風呂だよ
無料だし
2人で仲良く一緒に入ったらいいじゃないの
えっ
やっ
そんな
……
わかりました！じゃあおねがいします！
えっ
はいはいー
せっ…
ほんっ
いいじゃないの
ただ…
一緒に入ろ
アキくんがきて
温泉を求めて
べつにダンナさんへのあてつけじゃない…
こうなっただけ

RAKUJITSU-NO-
PATHOS

第40話 なんで一人ぼっちなんですか？

第40話
なんで一人ぼっちなんですか？
わぁ
熱海だー
熱海駅

和通り名店街
なんか思ったより賑やかですね
ねー活気あるねー

店もいっぱい
ほんとですねー
あ まんじゅう蒸かしてるよ

えっ どこどこ!?
ほらほら
あの店
すごい湯気出てる

わー
ほんとだー
はっ

先生が…
いた気が
したが…
まさかね…
センパイ
センパイ
買っちゃった
――――!

ザワ
ザワ

温泉まんじゅう
だー
ホカホカ
だね
いただき
まーす

んー
んまいー
ほんと
あったか
くて…
んっ
もっ
もっ

………
んぐっ

どうしたの？
なんか
ヘンな味
だった？
あっ
いえ
おいしい

なんでも
ないです
おいしいです
よねっ
ね。
イッツ
トラディショナル
オンセンマンジューだ
ぱくっ

じゃ 歩いて
ホテル
向かおうか
で…
ですねっ
温泉まんじゅう
いらっしゃ

網代ひもの問屋
直売
ひもの

まさみちゃん …大丈夫？

はい… 大丈夫… です…
…大丈夫じゃ ないよね

いえ…でも すぐそこもう… ホテルだし…
ほんと… 平気ですから…

うん…じゃあ僕が荷物持つから
頑張って…
はいぃ…
ザワ
ザワ
ザワ
ザワ
ザワ
わー
海がよく見えるよー
大海の間
でっかいマドー
あれは初島かー
いい眺めだー
…けど…

ほんと…
どうしちゃったの……
うう……
駅着くまであんなに元気だったのに…
まんじゅうがよくなかったかな？
アンコきらいだった？
いえ…
…理由は……
おそらくふたつあります…
ふたつ？
ひとつは…
実はわたし今
新人賞の応募原稿描いてて…

その
締め切りが…
明後日なんで…
なんとしても
終わらせて
こないと…って
徹夜続き
で……

旅行してる
場合じゃ
ないじゃん!!
だって
センパイが
誘ってくれたん
だもん!

日にち
ずらしても
よかったのに…
でも
それだけじゃ
なくて…
もうひとつ…

わたし今日
ちょうど
・・・
あの日に
当たりそう
だったんで
……
その…アレを
ずらす薬
飲んでて…

・・・
あの日を
ずらす薬ってのが
あって…
体質的に
合わない人も
いるとは
聞いてたんです
けど…
あのひ
まさか自分が
ここまで
とは……

あの日？
なんの日？
………
生理です

あー
あー
あー！
あの！
その！
あのひ！

あれ！
てことは
なに？
わざわざ
生理に
ならない
ようにって
僕となにか
・・・
そゆことを
するっていう!?
その
ための!?

だって…せっかくのおんせん…

ああおんせん!

そっちか!そっちのために!

わたし…ナプキン派だし…

ナプキン!?なんの関係が!?

あー…

そう…そうだよね

すぅ…
寝ちゃった…
ほんとはすごく眠かったんだろうな…
……
いつも…元気なまさみちゃんしか見たことなかったな
そういえば…

……だからかな
こうして…

弱って眠ってるまさみちゃん
見てると…

ふふ…なんだろう
なんか
そこはかとなく
エロスを感じる…なぁ

クズだ!
僕はクズ野郎だ!!

はあ…
ちょっとその辺ブラついてくるか…

眺めのいいとこに出た…

そういや先生も今日
この熱海のどこかにいるんだよな

つっても…
どこに
泊まってるかも
聞いてないし…
なんてこんな
ムチャなこと
したんだろ…
結果的に
そのせいで
まさみちゃんに
無理させて…
サイテー
だなー…
僕……
知らなかった
とはいえ…
あー
そうだ 先生の
ゆってた
〝お宮の松〟って
どこなの
かな…
行くとこも
ないし
ちょっと
見に…
あれ?
このすぐ
下じゃ
ないか!
ちょうど
あの辺…
!

………
ん!?
んんっ!?
せ
先生だ
ダッ
タタタ
あれは…
まちがい
……なく
……っ

でも
なんで!?
一人だった
けど…
ていうか…
僕も…
行って
どうすんだ!?
………
まあ
いいや
行ってから
考えよう…ッ
ポッポー
ポッポー
ポッポー
ポッポー
あれ――
先生

先生だあ
え…
ぐっ偶然ですね…っ

アキくん!?
なんで…

なんで…!?
ほんとなんでだ!?
あははその…っ
ただ…
ただ衝動だけで来ちゃったわけで……
なんでっていうかえっと

ぐっ…偶然ですね!!
なにそれ…
もぉ…アキくん…

あれ?先生目が赤い…?
なんでもないよーう
へへっ

えっ
温泉
ないんですか!?
いや
あるにはあるんだけど
――……
ひもの

なんていうかなー
カビ臭いし
雰囲気もね…
なんか
ガッカリでさー
あ
そういえば

たしか
電車の中で
熱海のこと
調べてたとき…
……たしか
先生
それなら
〝立ちより湯〟
行きませんか?
え
たちよりゆ?
本町商店街

はー
なるほど
日帰り温泉ねー
なんだか
伝統あるとこ
みたいですよ
おお

ふふ
先生も
温泉に
入れるし…
期待
しちゃうわー

ここの
休憩室で
カンパーイ
湯上りの
先生と
いい感じの
時間を
すごせる…！
ゆかたは
ムリか？
たのしみ!!
すいま
せーん

えっ
大浴場
入れないいん
ですか…！
ごめんねー
ちょうど
今日タイルの
修繕中でねー
海温泉

そんなぁ…
仕方ないよ
アキくん
あー
でも
家族風呂なら
入れるよ

えっ
家族風呂
……って
それは……
そう
貸切風呂だよ
貸切風呂!!
先生と!?
ふたりで
一緒に湯船に!?

おおおおお
そんなの…
やっ
そんな…っ
………
………
そんなの…

…そんなの…先生がOKするわけ……

わかりました！じゃあそっちでお願いします！

いいじゃない
一緒に入ろ
なんで!?
え
えっ
どうして!?
せっかく
ここまで来て
出会ったんだもの
でも
これくらい
別にいいよね
ともかく
せんせいと…
いっしょに…
温泉に!
入れる…ッ!

RAKUJITSU-NO-
PATHOS

RAKUJITSU-NO-
PATHOS

第41話 見えなくても起ち上がるの?

そこへ
アキくんが
現れて
なんだか
すっごく
嬉しかったのは
ホントだ
でも
ちょっと
どこか
ダンナさんへの
あてつけも
あったのかな
だから
あんな事
ゆっちゃって
これくらい
別にいいよね
──ってさ
よくよく
考えたら
あのっ
先生…
じゃあ僕…
先に…中
入って
ましょうか？

第41話
見えなくても起ち上がるの？
あっ
うん
そう…
そうねっ
これは
相当にとんでもない状況なんじゃない？

うおおおお

おおおおお

やっ…
ほんとにハダカ……ッ
そ…っそれじゃあ僕先に入ってますんで…
先生も
カラカラ
早く…入ってきて下さいね…
あっ…
そうか…
カラカラ…
パタン
わたしも…
ハダカになるのか…

よく考えたら
…わたし
お風呂に男の人と
一緒になんて…
ダンナ
さんとも
入ったこと
ないのに…
こんなに
明るい
時間に…
まさか…
アキくんと
…なんて

カラ…
!!
ねアキくん
ちょっと…壁の方……向いててくれる?
は
はいっ
わかりましたっ
バシャッ
こうっ!ですねっ

ひたっ
ドクンッ

ドクン
ドクン
ドクン

あ
ザザ…
いい湯…だね
ドッ
あ…
うん
ザザ
ね!!
アキくん…
はっ
ザ…
は…
は!?

やっぱり
こうして…
こんなかんじで
ね?
キュッ
え
は!?
えっ
じゃないと
さすがに
恥ずかしくて
一緒には…
ごめんねー
あははっ
いやっそりゃ
そうです
よねっ
ははっ
そりゃあ…ねえ
ははは…
ふふふ
しゅん
ちゃぽん

はあ…

泊まってるお風呂と全然ちがう……
なんてゆーかほんと〝温泉〟のニオイ…
ちょっとしょっぱい
なんか源泉100%って書いてましたね
加水もなにもしてないって

あー
そうですね色はほとんどついてませんでしたねー
さっき見ただけだけど
あ
透明だから…

アキくんの
…アレが
…少し
……
なんとなく
見えてる
ような…
……
……
ゴクリ…
あれ？
先生？
どうしたんですか？
あ…っ

…先生？
アキくん…
は…っ？
ぼ
勃起
してる…
……の？

そりゃ…

……

横に
先生が…
ハダカで
いるんだから…
勃ちっぱなし
…ですよ……

見えて
ないのに…?

見えてなくても…このシチュエーションだけで……
そりゃもう…
ほんとに…？
見えてないの…？
パシャ…
ドプン。。。
ザバ。。。
ほんとに…

先生…
今……
その…
ドクン
ドクン
……ん？
なあに？
うわ
すごい
ドクン
わたし

アキくんの
目の前で
隠しも
しないで
こんな
明るいトコで
ぜんぶ
は
ぜんぶ
は
先生…ッ
そこに
………っ
ま…
まさか…
こんな
はっ

は
んっ
う
えっ
なに!?

先生っ今のなんですかっ
オロ
オロ
……っ
〰〰〰っ
先生っ
今のって…ひょっとして
…オッパイ………
うん…
でも…大丈夫だから……
オッパイ…
……
……!

オッパイを…
おお…
オッパイ
オッパイ
おっぱい
おっぱ
ああ…
びっくりした…
オッパイ
殴られる
なんて……
……
ゴクリ
これは…
やっぱり
ふしだらな
事を考えた
罰なのかな…
先生…！
ズクズク
する…
んっ

せっかく…
一緒に
お風呂
入ってるん
だから…
その…
先生の
かっ…から
身体……ッ！
え
洗わせて
くださいっ!!
えっ

RAKUJITSU-NO-
PATHOS

4コマのパトス

え？
ぎゅ
こうじゃないと恥ずかしくて…

さすがに普通に入る訳にはいかないし…
アキ君には悪いけど…

いきなり目隠しプレイなんて
まさか先生にこんな趣味が

嬉しい

第42話 そんなバネみたいなの？
かっ…
身体…って
あっ ちがっ…
えっと背中！
背中ですっ！
いいですよね⁉
ねっ⁉
ねっ？
まあ…
ほら…よく恩師の背中を流す…みたいな…
その…
あ…ああ…
背中くらいなら…
いいけど…
わあいっ

じゃあ…
はい…これ
セッケンつけてあるから…
第42話
そんなバネみたいなの？

は…はいっ
で…では…っ
ぎゅーうっ

は…
はあっ…
ゴシッ
ゴシュ
グシュッ
はっ
グシュ
はっ
……
ゴシュ

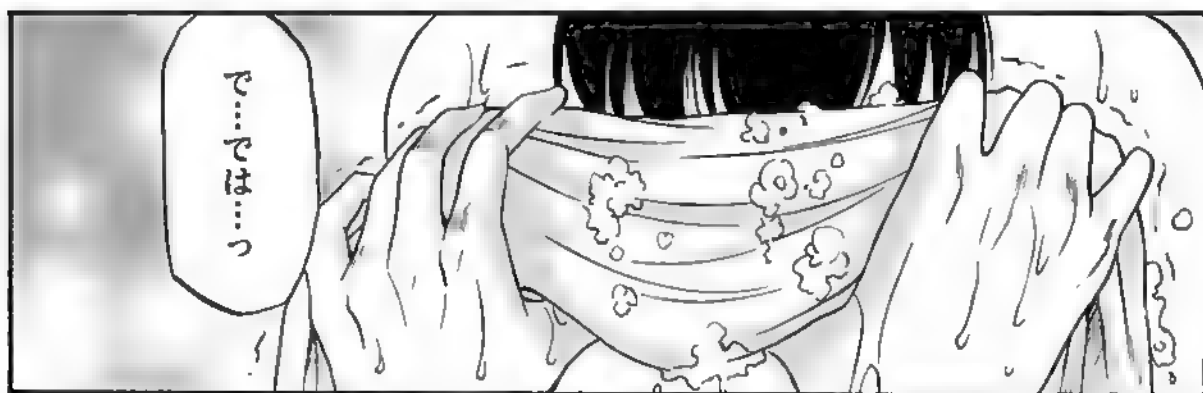
なに？
この時間…
クシュッ
コシュ
シュ
まあ…
そりゃ
ある意味
健全だけど…
なんていうか
クシュ
ゴシッ
明るい
日の入る
温泉浴場で
全裸の
男女がいて
なのに
ただ
その片隅で
背中を
流しているって
コシュ
ゴシュッ
ずいぶん
シュールな
絵面…
！
クシュ

ぜワッ
うわ
バッ
カガミ越しに
アキくんの
みえた

はじめて
ちゃんと
見えた…

そりゃ
触ったりは
したけど…
見たことは
なかった
アキくんの
チ
ポ
BODY
SOAP

あんなに
なる…って
うん
話は
したけど
さ

わりと
上をむく…
上を…

あんな
色して
あんなに
まっすぐ
上を
上を
上を
まったー
ほるん

……
もう いっかい…
あ
みえない…
アキくん…
はっ
はひっ
あの…
……
なにか…
ふ──

…ううん
ごめん
なんでも
ない…よ
………

ぬりゅ
あっ…
にゅっ
素手で…っ
ぬり
あっ
はっ

なんっ…で
あっ
そんな…
なっ…
なんとなく…
はっ
この方が…
いいかな…って
あんっ
ふあっ

ぞわ
ひあ
あっ
ぞわっ
ビクビクビクッ
だめっ
ぬるるるるるる
うひゃわ…
あっ
りゅるる

あ
こしゅるるるるる
あっ
だ…め…
ぬりゅうるるる
あっ
ぬゅるるる。。。
だよう…

だって
もうっ…
はっ
僕の…
は
はっ
え!?
ほら…っ
!

これ…っ
背中に
当たってる
ふわ
あ
ビクッ
ビクッ
アキくんの…
あ
はっ
あっあああ
はうっ
せっ…
せんせい……ッ
ぐりっ
ぐりゅっ
アキくんっ
ちょっ…
あ

そんなに押し付けたら
だって先生の背中…
は
気持ちいい…
わたしまで
だめアキくん…っ
アキく…んっ
ガマンできなくなる…
は
わたしまでー
アキくんっ
……ア

はわ
やっ
ごめんなさいっ

アキくんの
アレが
ムチのように
私のアゴを
打ち抜いた後
その
刺激が

アキくんはなにかを放ち

床に
落ちた
私の赤と
アキくんの白は
しずかに
混じりあって
やがて
水に流れて
消えて
いった
それじゃあ
ありがとね
付き合って
くれて
はっ
いえ
その…爆発…
じゃない
暴走して
しまいまして…
スンマセン
ハハ

でも…楽しかった…です
……

ね ナイショだよ
一緒におフロ入ったなんて…

ふたりの…ヒミツだから…ね
……
はい

旅館に戻ると
ただいまぁ戻りましたぁ
おかえりなさーい
おーおかえりー
ダンナさんたちはまだ飲んでいた

ついさっきココに
アキくんの…アレが触れたんだ…

顔に…

わたしの顔に…
ウソみたい

RAKUJITSU-NO-
PATHOS

4コマのパトス

ナイショだよ
一緒におフロ入ったなんて…

おっぱい殴られ
チ●チ●殴られて
出血

視覚を奪われた状況で
感じる
柔らかさ
体温
声

ナイショのプレイ
ふたりのヒミツだからね!!

第43話 熱海城って17時で閉まるの？

わたし
身体ふいて
ちゃちゃっと
服着るから
もうちょっとだけ
そのままねっ
えっ
えっ
すぐだから

……
シュッ
シュッ
ゴシゴシ
よっ
バフッ
バフ

もうちょっとねー
グイ。。。
……
はあい
は
は

第43話
熱海城って17時で閉まるの？
まだとっちゃだめだから…
ねっ

ほわっ
ふひっ
えっ
やっ
まだって
言ってんのにっ！
すすすい
ませんっ
ほんっと
アキくんてば
はは…は
―ね

一緒におフロ入ったなんて…

ふたりのヒミツだから…

ね

……

はい

ヒミツ…

と

言われても

中央案内所

今まで
どれほど
2人の
ヒミツが
あったで
あろうか
熱海
すごく
今更感
なんだけど…
とはいえ
"2人だけの
ヒミツ"
という
言葉は
なんだか…
いいよなァ

大海の間
さて…
現実に帰ってきたぞ…
他の女の人と一緒にフロ入ってきて…
どんな顔して戻りゃいいんだと…そんな気もするけど…
カラ
カラ
カラ
まさみちゃーん…
す…

あっ
センパイ

まさみちゃん！
…もう大丈夫なの？

今起きたところなんですよ

御心配おかけしました

はい！
たくさん寝たら元気になってきました！

そっかー
よかったねー

晩ごはん
バイキングだし
いっぱい
食べなきゃね!!
あははっ
そうですねっ
それにしても

こんな
いい眺めの
部屋だったんですねー
アレ初島ですかねー
そっかー
着くなり
ダウンだった
もんねー
そだねー

夕方に
なってきて
…キレイ
ねー
!
ス…ッ

センパイ…この旅館…

家族風呂あるんですって…

家族風呂！

へ…へえ！

だから…ほら

センパイと
2人きりで…
入れちゃうん
ですよ…？
まさみちゃん…
ポッ

ダメだよ…
身体がやっと
よくなったのに…
ここで
無理したら
また
ぶりかえし
ちゃうかもよ?
センパイ…
でも…
それに帰ったら
原稿まだ
あるんでしょ?
自己管理も…
マンガ家として
大事な事だしね
センパイ…

あはっ センパイ 頼りないって 思ってたけど…
やっぱり プロですね そーゆートコ

見習わなくっちゃ！

いやあ ハハハ
ハハハ

ハハハハ
さっきで スッキリ しちゃって
もう おナカ いっぱいだし――
――なんて 言えないし――

そうか…
これがきっと
いわゆる
賢者モード…
でも…

ちょっと
さみしいなー
せっかく
センパイと
2人で
旅行にきて
なーんにも
想い出になること
できなくて…

うーん
そっかあ…
そうか…
そりゃ
そうだよな
なにか…
あ

ねえあそこの〝熱海城〟までいっしょに行こうか⁉
え？

今からだときっと夜景がキレイな時間に行けるよ‼

わあ…行きたい！
いっしょに夜景見たいです！

よし！じゃあ行こう！
はいっ
そうだよな

せめてこれくらい
せっかく一緒に旅行に来たんだし…

とは言った
ものの…
本町商店街

どうやって
行けば
いいんだ…?

タクシーも
来ませんしねェ
……
バスは
訳分かんない
し…
いったん
駅に行けば
いいのか?

どう
しましょう?
うーん
とりあえず
城を目指して
歩くか…

でも結構
遠くないですか?
うーん
下まで
行けばたしか
ロープウェイが
あるって

あ——
うっさいわね
なによ
ブースカ
ブースカと!

センセイ…とセンパイ！
ミツアキくん!!
え
え
な…何してんの？
こっちのセリフですよう〜〜
おふたりでこんなトコに〜〜
僕はやっとレストアの終わった愛車(コイツ)でちょっとドライヴにと
グフッ
へえー
こんなポンコツで随分嬉しそうにねー！
……
名車なんだよ…
わからんわー

でも
助かったよー
ミツアキくん
車で来てくれてて
ブオオォォォォォ
あはは
よかったっス
熱海城 入口
トリックアート迷宮館
いやあー

ねエー
うしろ
せっまいん
だけど！
もう少し
大きい車
買えば
いいのに
……
ま…まあ
オシャレで
いい車
じゃなーい

それにうしろ
車つまってる
わよ！
もっと速く
走れないの？
さっ…坂は
苦手なのに
3人も
乗ってるからっ…

わあ

ありがとねー
ミツアキくん
いえいえ
わー
下から見えてた
お城だー
あーお城
ちょうど
閉まっちゃった
とこかー
受付終了
あっでも
ほらセンパイ!
こっちこっち
ん?
みて!
ほら!
おっ

わあー
夕暮れの空も すごく キレイだねー
あっ そうだ

今さらなんだけど

誕生日なんだよね

おめでとう

あの…そろそろ下りないっスか？
暗くなるっスし…
はー
はー

向こうの
自販機で
あったかい
コーンスープ
買ってきて
くれる？
えっ
わかったっス
いって
きますっス
ﾀﾞｯ

さすがセンパイ
人使い
荒いっスね
えー
あったかい
あったかい…
あれー
コーンスープ
ないっスなー
じゃあ
あったかい
おしるこで
いいかァ
たいして
かわりゃ
しないし

センパイ
買ってきたっスよ
コーンスープ
なかったんで
おしるこを
あれ？
センパイ？
センセイ…？
ぽつん

ねェ よかったのかな…？
おいてきちゃったけど…
いいんです いいんですっ

アイツ たくましいから しれっと帰ってますよ
そ…そうかな それなら いいけど…
そして 僕らはホテルに 戻って
あっほら！ それより 夜景キレイ ですよー

バイキングで 楽しく 食事をして
大浴場で 温泉を 楽しみ
すかー
…
えっと センパイ？
ねちゃった？
そっスか
…
清く正しく 就寝し
センパーイ

翌日駅前で おみやげを 買って
熱海旅行は 終わったのだった
やー なんだかんだ 楽しかったねェ まさみちゃん
そ… そうですね フフ…
フフフ

PS ミツアキくんは まさみちゃんの いったとおり でした
センセイ どこっスか？
あのボク
先に帰りますね
歩いても降りられるっスよ 多分!!

RAKUJITSU-NO-
PATHOS

4コマのパトス

第44話
これが
勝負下着って
ヤツなの？

はぁー
なんと!
6位…
それは…
えーっと…
あ ですか!
よかった!
僕の
連載の
第一話が
掲載された
はい
は…
そう悪くない
スタートで
安心したけど

いいかい
追いつかれるのは
あっというま
だから！
気を
抜かずに
ネーム
進めるんだよ！
は…
はいっ！
大丈夫
ですっ！
ふう…
トッ
……
ゴクリ…
あれから
1Pも
できてない
なんて
言えない…

はぁぁぁぁ…
だーってさあ
熱海とかいっちゃってさあ――

なんか…キモチが切れたっていうのか…
一息ついちゃったというか…

フニャ子フニャ雄先生が実家に帰って
原稿を落とした時もこんな感じだったのだろうか
カラ
カラ…
外の空気でも吸おう…
はー
というかまあ…
あのセンセイの後ろ姿ばかりが浮かんで…

・・アレを想い出すと…
そっ…
ついつい…

ついつい…なあに？
!?
ぬっ

はっ
先生っ
やっ
いつからそこにっずるいっ
盗み聞きなんてっ
…さきに洗濯物干してたのこっちだしー
ひとぎきのわるい
——で…？
な…ナニするって…？

…そんなコト
…言えません
から…

…って
半分
答えてる
よな…

まあ
いっか

なんだかんだ
アキくんの
おかげで
楽しかったし

アタミ

はは…
フロ入った
だけでした
けどねー

どうせなら
どっかで
飲んだりできたら
よかったですね

あーじゃあ
またダンナさん
出張だし

ごはんでも
いく?

あっ
ほんとですか!
ぜひ!

じゃあー

原稿を落としたりしないようにがんばって
気持ちよく晩ゴハンしましょ
……ハイ
そこからきこえてたのね…
さて
じゃあ本気で頑張るかー
…とはいえ
んー…
んー
ちょっとだけ仮眠ね
うん…
かみん…

せんぱい……!

先輩!

あれぇ
まさみちゃん
…？
まさみ
ちゃん…っ
あれ
ここ
どこだっけ…

ああ
そっか
熱海…？
もう
温泉
入って
きたのー？
え…？
晩ごはんが…
今
何時…

ぷっ
くっ
クス
クス
クス
いや
ちがう
これは

熱海はもう終わりましたよー
いや…
その…
…はい
笹しか食わ
パンダは
ただの

──って
なんでまさみちゃん!?中に？

センパイまたカギあけっぱなしでしたよー
いちおうピンポンしたんですけど
あいけねー

じゃなくてーなんでウチきたの？
んー

ネーム頑張ってるかなーって
まっしろ…
陣中見舞いのつもりできたんですけど…
……

うん！ じゃあ センパイ！

外行き ましょう！

へっ

気分転換 ですよ！

デートしましょ！

ほらほら
センパイ
行きましょっ
トッ
トッ
トッ
やっ…でも
デートって
そんな急に

やだ
いっしょに
ゴハンでもって
意味ですよう
それに部屋で
うなってるより
気分転換でも
したほうが
きっと良い
アイディアも
出るだろうし！

うーん…
まあ
そりゃ
そうかも…
なん
だけど…
それ
よりも

ついさっき
先生と
いっしょに
ゴハン
食べる
約束した
のに…！

ことわり
いれるヒマも
なかった…!
どこ
いきます!?
えー
あー…うん
おまかせで
先生
ごめんなさい…!
あっじゃあ
ちょっといい店
見つけたんで
そこに!

じゃあー
カンパーイ!!
ぱーい!

わー
僕ワイン初めてだよ
あかわいい…
あっそうなんですか？
あいいね！
いけるいける！
コク
ふふっよかった楽しめそうで
いやあいつも僕が選ぶと居酒屋みたいなトコばっかだけど
やっぱまさみちゃんが選ぶとおシャレというか

この前の熱海は…楽しかったけど
私のせいで半分つぶしちゃったし
いやいやー気にしないで
それにセンパイが体調面考えてくれて
お酒ものめなかったですし…

だからあの…
もう一度…言ってもらってもいいですか…？
あの時
お城で言ってくれた
！

じゃあ…
改めて
誕生日おめでとう
まさみちゃん

ありがとうございます…！
うれしいっ…！

…そうだよね
あの日まさみちゃんだって
“せっかくの日”だったんだ

僕はすっかり満足してたけど
あっほら料理きましたよ！
マッシュルームのアヒージョバゲット添えです
おー
このアヒージョとかワインと合いますよ
へー！
お酒くらい飲みたかったろうな

うわー
ほんとだ!
いいねー
コレ
先生には
わるかった
けど
ねー!
あひーじょ
はじめてー
それなら
せめて
まさみちゃんに
とことん
付き合おう
今日は
体調も
充分だし
しっかり
飲めるね!
はい!
センパイも
今夜はいったん
ネーム忘れて!!
うん!
しかし
ワインって
いいねー
飲みやすいんで
どんどん
飲めちゃうよー

ふふふ
そっかぁ まさみちゃんも もう23歳かあ
オットナ だなぁ〜
オトナ ですよーお
フラ
フラ
僕と出会った 時なんて こーんな
こー――――んな ちっさかった のにさー
イナカの 小娘って 感じだったのに… すっかり…
ホロリ
あ! ひどーい

でも
そうでしたね
——
大学の
漫研
入った時は
田舎から
出てきた
ばっかり
だったし
ホント
そんな
だったかな

あのころの
センパイって
今とちょっと
違って
なんだか
クールでした
よね
覚えて
ます?
おぼえって
いるっさ!

最初はね
——
センパイ
なに考えてるか
わかんなくて
ちょっと
怖かったん
ですよー
いろいろ
こじらせて
たんだな
僕!!
きっと!!
あはは
ははは
高校から
あんなんで
さあー
えー

でも
センパイは
他の人と
違ってたん
ですよねー
他のセンパイは
口ばっかで
全然描かなくて
エラソーにしてる
中
センパイだけが
いつも黙々と
描いてて

私が
悩んでる時も
ボソっと
いってくれる
一言が
※アキくんです
あきらかに
他のセンパイとは
違ってて
※まさみです

あっ
センパイ
そんな
真実を

なにを話そうとも
一番よいのは
あらやだ
センパイ
ワインで
悪酔い
しちゃった
かな？
はじめての
ワインは
かなり
回った
らしくて
ほらセンパイ
しっかりしてー
だーいじょぶ
だいじょぶ
だいじょ…
ぶっ
このへんの
記憶が
ほとんどない
オッケー！
まさみちゃんと
いっしょなら
僕
ど
ただまさみちゃんが
支えてくれたのを
覚えていて
オッケ

気づけば
そこは
あきらかに
ラブホテルの
中だった
………

あっ センパイ
目が覚めました？
あっ
まさみちゃん…ここ…
ほら これ
かわいくないですか？
資料用に買ったんですけど
フフ
自分で穿いちゃった
これ…後ろとかすごいんですよ？

ほら!!
……!!
てっ…
て…ッ
くるっ
恥ずかしいけど
ウフフフ
今日
着てきて
よかった…
センパイと
こうして…
こんなトコ
来られたし…♡
フフ…
フフフッ

『落日のパトス』第⑥巻／完

4コマのパトス

（ほぼ実話）

あとがき
6巻です!
お買い上げ
ありがとうございます!
やあ、この巻はほぼ
"熱海回"でした。
いいですよね熱海。
取材と称して何度も
行きましたよ。
さて。まこと先生の話が
続きましたが…
そろそろまさみちゃんの
ターンです!!
次巻を刮目して待っててね!
2018_7月初旬

RAKUJITSU-NO-PATHOS 次巻予告
眼前にいるのは下着姿の後輩！
押し寄せる誘惑…。
こんな
……
エロエロシチュエーション
……
……
にょーん
……夢？
夢じゃないですよセンパイ！
ね…センパイ私
あのころに比べたら
キレイになったでしょ…？
どうですかこれ
かわいくないですかあ？
かわいい…というか…
エロ…い…っていうか…
背徳の隣人愛欲物語。

興奮の中、欲望のたがが外れ!?
酔っ払った藤原は流れに身を任せてついに…!?
そして藤原とまさみの過去も明らかに!?
やっ…そりゃ…もう…
まさみちゃんとキス…
しちゃった…
好き…?僕のこと好きって?
じゃあ
ちゅっ
しちゃってもいいってことか?
ベロチュー…!?
ちゅぷ
おわ
これは舌…!?
ああ酔ってて整理できない
でもしちゃうなら僕の「スキ」もないとダメなんじゃ…
くちゅっ
いやこれって
やばい…コーフンする
やあエロいっ
舌ってこんなに
スキとかキライとか
あはっ
ネームは最後までいってから読むもんですよ
センパイ
そんで
おいといても
本人の了承を得てからね
瓦解していく理性…。
『落日のパトス』最新第7巻を乞うご期待。

■ヤングチャンピオン・コミックス■

落日（らくじつ）のパトス⑥

2018年9月1日　初版発行

著　者　艶々（つやつや）

発行者　沖　浩

発行所　株式会社 秋田書店

〒102-8101　東京都千代田区飯田橋2-10-8
☎編集(03)3265-7362　販売(03)3264-7248
製作(03)3265-7373
振替口座　00130-0-99353

印刷所　誠宏印刷株式会社

Printed in Japan

ISBN978-4-253-14076-8

デジタル版　2018年発行
製作所　デジタルカタパルト株式会社
http://www.digital-catapult.com